

| | | | | |
|---------|--------------------------------|--------------------------|-------------------|---|
| 猿 倉 信 彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 4. 5 ~ 12. 4. 9 | アメリカ | コミッティーミーティング出席のため |
| 加 藤 立 久 | 分 子 構 造 研 究 系 助 教 授 | 12. 4. 9 ~ 12. 4. 14 | ポーランド | ポリフィリン関連ラジカルに関する共同研究打合せのため |
| 藤 井 正 明 | 電 子 構 造 研 究 部 門 教 授 | 12. 4. 14 ~ 12. 4. 26 | フランス | Molecular and Ionic Clusters (MIC2000)出席及び研究打合せ |
| 酒 井 誠 | 電 子 構 造 研 究 部 門 助 手 | 12. 4. 14 ~ 12. 4. 26 | フランス | 2 波長レーザー振動分光法と量子化学計算による反応活性クラスターの研究についての研究打合せ |
| 佐 伯 盛 久 | 電 子 構 造 研 究 部 門 非 常 勤 研 究 員 | 12. 4. 14 ~ 12. 4. 26 | フランス | 2 波長レーザー振動分光法と量子化学計算による反応活性クラスターの研究についての資料収集 |
| 猿 倉 信 彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 5. 6 ~ 12. 5. 14 | アメリカ | CLEO 2000 で発表 |
| 黒 澤 宏 | 極端紫外光科学研究系 教 授 | 12. 5. 7 ~ 12. 5. 22 | アメリカ カナダ | 「Conference on Lasers and Electro optics」及び「Electron Chemical Society-197th Meeting」参加、講演 |
| 平 等 拓 範 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 5. 7 ~ 12. 5. 18 | アメリカ | CLEO 2000 で発表及び共同研究実施 |
| 栗 村 直 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 手 | 12. 5. 7 ~ 12. 5. 18 | アメリカ | CLEO 2000 で発表及び共同研究実施 |
| 加 藤 立 久 | 分 子 構 造 研 究 系 助 教 授 | 12. 5. 16 ~ 12. 5. 20 | カナダ | 米国電気化学会フラーレンシンポジウム招待講演発表 |
| 渡 辺 芳 人 | 相 関 領 域 研 究 系 教 授 | 12. 5. 18 ~ 12. 5. 28 | ハンガリー | 日本学術振興会 日欧科学協力事業により、ハンガリー科学アカデミーのProf.L.I.Simandi教授との共同研究実施のため |
| 茅 幸 二 | 分 子 科 学 研 究 所 所 長 | 12. 5. 25 ~ 12. 5. 28 | 韓 国 | 韓国分子反応動力学ワークショップ出席及び研究打合せ |
| 黒 澤 宏 | 極端紫外光科学研究系 教 授 | 12. 5. 26 ~ 12. 6. 5 | フランス | E-MRS Spring Meeting(ヨーロッパ材料学会春季講演会)に参加、講演 |
| 猿 倉 信 彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 5. 27 ~ 12. 6. 6 | フランス | レーザー非線形光学結晶国際シンポジウムに招待講演、発表のため出席 |
| 平 等 拓 範 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 5. 28 ~ 12. 6. 4 | フランス イタリア | 「レーザー・非線形光学結晶国際シンポジウム-20世紀のフォトニクス材料」講演、「次世代・紫外レーザー光源」に関する研究打合せ |
| 北 川 禎 三 | 分 子 構 造 研 究 系 教 授 | 12. 5. 29 ~ 12. 6. 12 | スウェーデン, フィンランド | 日本チェコ共同研究の推進及び国際学会に出席のため |
| 井 上 克 也 | 相 関 領 域 研 究 系 助 教 授 | 12. 6. 4 ~ 12. 6. 19 | ロ シ ア | ヨーロッパ磁性国際会議 (EMMA) 他に出席及び発表のため |
| 夢 田 博 一 | 分 子 集 団 研 究 系 助 教 授 | 12. 6. 20 ~ 12. 7. 2 | ド イ ツ フランス | 国際会議における招待講演 |
| 渡 辺 芳 人 | 相 関 領 域 研 究 系 教 授 | 12. 6. 21 ~ 12. 7. 2 | フランス | 金属蛋白質分子設計に関する最新の研究動向の調査及び第1回ボルフィリン及びフタロシアニン国際会議にて招待講演をするため |
| 茅 幸 二 | 分 子 科 学 研 究 所 所 長 | 12. 6. 26 ~ 12. 7. 3 | スウェーデン | 第117回ノーベルシンポジウムに参加、講演のため |
| 鈴 木 俊 法 | 電 子 構 造 研 究 部 門 助 教 授 | 12. 7. 1 ~ 12. 7. 9 | アメリカ | Gordon Research conference にChirmanとして出席のため |
| 鈴 木 俊 法 | 電 子 構 造 研 究 部 門 助 教 授 | 12. 7. 1 ~ 12. 7. 9 | アメリカ | ゴードンコンファレンスに出席し、研究成果の発表、研究情報の収集をするため |
| 猿 倉 信 彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 7. 8 ~ 12. 7. 15 | アメリカ | 超高速光現象国際会議にて発表のため出席 |



| | | | | |
|----------------|--------------------|----------------------|----------------|--|
| 田中晃二 | 錯体化学実験施設教授 | 12.7.9 ~ 12.7.17 | イギリス | 第34回錯体化学国際会議で論文発表のため |
| 中村宏樹 | 理論研究系教授 | 12.7.9 ~ 12.7.16 | チェコ | 日・チェコ共同研究実施のため |
| 今井宏之 | 相関領域研究系リサーチアソシエイト | 12.7.12 ~ 12.7.27 | オーストリア | 合成金属の科学と技術に関する国際会議(ICSM2000)出席及び研究打合せ |
| 薬師久彌 | 分子集団研究系教授 | 12.7.13 ~ 12.7.23 | チェコ | 日本・チェコ共同研究実施のため |
| 井上克也 | 相関領域研究系教授 | 12.7.13 ~ 12.7.27 | オーストリア フランス | 合成金属国際会議(ICSM)にて成果発表及び研究打合せ |
| 藤原秀紀 | 分子集団研究系助手 | 12.7.13 ~ 12.7.25 | オーストリア チェコ | 合成金属に関する国際会議(ICSM'2000)に出席し、研究発表及び資料収集を行うため |
| 山本 薫 | 分子集団研究系助手 | 12.7.13 ~ 12.7.25 | オーストリア チェコ | 合成金属に関する国際会議(ICSM2000)に出席し、研究成果発表および資料収集のため |
| DROZDOVA, O.O. | 分子集団研究系文部省外国人研究員 | 12.7.13 ~ 12.7.23 | オーストリア | ICSM2000(合成金属に関する国際会議)に出席し、現在実施している研究に関する調査を行うため |
| 小林速男 | 分子集団研究系教授 | 12.7.14 ~ 12.7.24 | オーストリア | 合成金属に関する国際会議(ICSM2000)において招待講演を行うため |
| 中村敏和 | 分子集団研究系教授 | 12.7.14 ~ 12.7.23 | オーストリア | 合成金属の科学と技術に関する国際会議2000に出席・発表し討論するため |
| 米満賢治 | 理論研究系教授 | 12.7.14 ~ 12.7.23 | オーストリア | ICSM2000(合成金属の科学と技術に関する国際会議)に参加し、研究成果発表及び討論を行うため |
| 田中彰治 | 分子物質開発研究センター助手 | 12.7.14 ~ 12.7.24 | オーストリア | 国際会議(IMSM2000)に出席、発表を行うため |
| 細越裕子 | 相関領域研究系助手 | 12.7.14 ~ 12.7.29 | オーストリア フランス | 合成金属の科学と技術に関する国際会議(ICSM2000)出席・研究成果発表およびLCC-CNRSでの研究打合せのため |
| 陰地 宏 | 極端紫外光科学研究系非常勤研究員 | 12.7.14 ~ 12.7.25 | オーストリア | 国際学会(ICSM2000)にて発表及び研究打合せ |
| 竹内佐年 | 極端紫外光科学研究系助手 | 12.7.21 ~ 12.8.3 | ドイツ | 第18回IUPAC光化学シンポジウムへ出席のため |
| 中村宏樹 | 理論研究系教授 | 12.7.29 ~ 12.8.8 | アメリカ | 国際ワークショップ「非断熱動力学の理論」で研究成果発表をするため |
| 水谷泰久 | 分子構造研究系助手 | 12.8.3 ~ 12.8.16 | アメリカ | Gordon Research Conference on Vibrational Spectroscopy and Molecular Dynamicsにて研究成果を発表する。関連分野の研究室を訪問しセミナー発表を行うため |
| 杉田有治 | 理論研究系助手 | 12.8.4 ~ 12.8.11 | アメリカ | 第14回蛋白質学会会議に参加し、研究発表及び討論を行うため |
| 田原太平 | 極端紫外光科学研究系教授 | 12.8.5 ~ 12.8.13 | アメリカ | 「振動分光と分子ダイナミクスに関するゴードン研究会議」に出席のため |
| 平田文男 | 理論研究系教授 | 12.8.6 ~ 12.8.13 | アメリカ | ゴードン会議における招待講演のため |
| 猿倉信彦 | 分子制御レーザー開発研究センター教授 | 12.8.6 ~ 12.8.13 | アメリカ | 「2000年度非線光学会」に出席のため |
| 小杉信博 | 極端紫外光科学研究系教授 | 12.8.7 ~ 12.8.14 | アメリカ | 第8回電子分光・電子構造国際会議に出席、研究成果発表のため |
| 江田 茂 | 極端紫外光実験施設助手 | 12.8.13 ~ 12.8.20 | アメリカ | 第22回国際自由電子レーザー会議において研究発表のため |

| | | | | |
|-------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|---|
| 保坂将人 | 極端紫外光実験施設 助 手 | 12. 8.13 ~ 12. 8.20 | アメリカ | 第22回国際自由電子レーザー会議において研究発表のため |
| 福井一俊 | 極端紫外光科学研究系 助 教 授 | 12. 8.15 ~ 12. 8.30 | ドイツ | 「高輝度光源利用に関する調査研究」(平成12年度創造開発研究海外調査)のため |
| 加藤政博 | 極端紫外光実験施設 助 教 授 | 12. 8.18 ~ 12. 8.27 | ドイツ | 国際会議出席(7th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation) |
| 鎌田雅夫 | 極端紫外光実験施設 助 教 授 | 12. 8.18 ~ 12. 9.0.1 | ドイツ | Synchrotron Radiation Instrumentation 国際会議ならびにサテライトミーティング、セミナーに出席、講演のため |
| 北川禎三 | 統合バイオサイエンスセンター 教 授 | 12. 8.19 ~ 12. 8.29 | 中国 | ラマン分光国際会議で研究成果の報告のため |
| 黒澤宏 | 極端紫外光科学研究系 教 授 | 12. 8.20 ~ 12. 8.28 | イギリス | 第19回熱電材料国際会議に参加し講演及び研究打合せのため |
| 平田文男 | 理論研究系 教 授 | 12. 8.20 ~ 12. 9.15 | アメリカ ワシントン州 ベルモント | 米国化学会年会にて研究発表を行い、国立基準技術研究所(NIST)にて統計力学に基づく化学反応に関する討論を行うため |
| 見附孝一郎 | 極端紫外光科学研究系 助 教 授 | 12. 8.20 ~ 12. 8.27 | ドイツ | 第7回放射光装置国際会議に出席し講演発表と討論を行うため |
| 岡本祐幸 | 理論研究系 助 教 授 | 12. 9. 3 ~ 12. 9. 8 | ドイツ | 巨大分子系の多スケールモデリング研究会にて講演をするため(講演題名: 拡張アンサンブル法によるタンパク質折り畳み機構の研究) |
| 平等拓範 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 9. 8 ~ 12. 9.18 | スウェーデン ストックホルム | ストックホルム国際会議発表国際会議(CLEO/Europe-IQEC2000)発表、レーザーとプラズマ物理の国立研究所にて研究、討論のため |
| 大竹秀幸 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 手 | 12. 9.10 ~ 12. 9.21 | フランス デンマーク | CLEO/Europe 2000に参加し高強度テラヘルツ電磁波発生に関する情報収集及びInternational Terahertz workshop 2000会議出席のため |
| 酒井雅弘 | 技 術 課 技 官 | 12. 9.10 ~ 12. 9.17 | フランス | CLEO/Europe-IQEC2000に参加し、真空紫外光学素子に関する技術的情報収集のため |
| 井上克也 | 相 関 領 域 研 究 系 助 教 授 | 12. 9.13 ~ 12. 9.19 | アメリカ | 有機フュルカルと遷移金属イオンの自己集合組織化による複合機能を持つ分子磁性体の構築に関する情報収集及び意見交換を行うため及び分子磁性国際会議(ICMM)に出席、発表のため |
| 小林速男 | 分子集団研究系 教 授 | 12. 9.14 ~ 12. 9.20 | アメリカ | ICMM2000に出席、講演するため |
| 中村宏樹 | 理論研究系 教 授 | 12. 9.14 ~ 12. 9.21 | イスラエル | 分子衝突動力学ヨーロッパ会議にて招待講演及び討論のため |
| 細越裕子 | 相 関 領 域 研 究 系 助 手 | 12. 9.15 ~ 12. 9.23 | アメリカ | 分子磁性の国際会議(ICMM2000)出席・研究成果発表のため |
| 加藤立久 | 分子構造研究系 助 教 授 | 12. 9.21 ~ 12. 9.26 | アメリカ | Third Annual Japanese American Frontiers of Science Symposium 招待参加のため |
| 猿倉信彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 9.23 ~ 12.10. 3 | ドイツ | 第8回テラヘルツ電子工学国際会議出席及び研究情報の収集のため |
| 平等拓範 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12. 9.26 ~ 12.10. 2 | アメリカ | スタンフォード大学において「界面制御による高機能光測定用光帯域波長可変クロマチックレーザーの開発研究」を遂行するため |
| 加藤立久 | 分子構造研究系 助 教 授 | 12.10. 4 ~ 12.10. 8 | ドイツ | 金属内包フラーレンの分子物性の分光学的研究のためのドイツとの共同研究のため |
| 小杉信博 | 極端紫外光科学研究系 教 授 | 12.10. 6 ~ 12.10.22 | フランス ドイツ | 光イオン化国際会議に出席・研究成果発表、ポッフム大学・オスナブルック大学訪問、研究資料収集のため |
| 杉田有治 | 理論研究系 助 手 | 12.10. 8 ~ 12.10.16 | アメリカ | フェルトリコ大学にて蛋白質の立体構造予測法に関する討論を行い、ニューヨークにて生体高分子のモデリング法に関する国際ワークショップに参加し、研究発表を行うため |
| 茅幸二 | 分子科学研究所 所 長 | 12.10.13 ~ 12.10.19 | 台湾 | 平成13年度学術会議会新プログラム・COE特別委員会出席、国際シンポジウム出席及び文部省所轄並びに国立大学附置研究所所長会議大一部会出席のため |

| | | | | |
|---------|---------------------------|------------------------|--------------|---|
| 中村宏樹 | 理論研究系 教 授 | 12.10.13 ~ 12.10.19 | 台 湾 | 第4回原子分子物理学アジアセミナーにおいて研究成果の発表をするため |
| 猿倉信彦 | 分子制御レーザー開発研究センター 助 教 授 | 12.10.14 ~ 12.10.18 | アメリカ | 高強度テラヘルツ電磁波による画像新知覚化システムの構築に関する情報収集のため |
| 鈴木敏泰 | 分子物質開発研究センター 助 教 授 | 12.10.14 ~ 12.10.20 | アメリカ | ACS Polymer Division主催のFluoropolymer2000において講演を行うため |
| 宇理須 恆 雄 | 極端紫外光科学研究系 教 授 | 12.10.15 ~ 12.10.23 | アメリカ | Molecular Bio Science&Hybrid Electronic Systems に出席し、米国におけるナノ反応場の研究の現状を調査するため |
| 鈴木俊法 | 電子構造研究系 助 教 授 | 12.10.19 ~ 12.10.29 | ギリシャ オランダ | IMAGINE Network meeting にて招待講演を行い、研究成果の発表、研究情報の収集をするため |
| 谷村吉隆 | 理論研究系 助 教 授 | 12.10.22 ~ 12.10.30 | 韓 国 | 課題研究に関してEok Lee教授と討論し、情報を収集するため |
| 鈴木俊法 | 電子構造研究系 助 教 授 | 12.10.31 ~ 12.11.4 | 韓 国 | ソウル大学を訪問し、セミナーを行い、研究成果の発表、研究情報の収集をするため。 |

